

分野別意見交換会報告書 【文教常任委員会】

開催日時： 令和5年(2023年)9月15日(金) 10時～11時30分

開催場所： 箕面市役所本館3階委員会室

団体名： 箕面市教育委員会

出席者： 藤迫稔教育長、山元行博代表教育委員、高野敦子委員

稲田滋委員、高橋太郎委員、酒井康生委員

出席議員： 村川委員長、船瀬副委員長、田中委員、武智委員、川上委員

傍聴者数： 非公開

テーマ： 地域クラブ活動の今後の在り方について

番号	項目	内容
1	地域移行に対する意見や感想①	現状、課題、方向性を示すべき。また子ども目線の議論もすべき。
2	地域移行に対する意見や感想②	教員経験上、顧問は非常にしんどい。職場内において部活動に携わることがしんどいとはとても言い出せない雰囲気がある。部活種目別の会議等も教員にとって負担となっている。部活動に求めるものや熱量、価値観が子ども、保護者、顧問の個人個人によって違いすぎることに課題が内包されていると考える。
3	地域移行に対する意見や感想③	地域移行と言っているが、民間移行にみえる。部活動を移行するにあたっての目的の優先順位を明確にすべき。
4	地域移行と学校に対する私見	私立は週6日学校があり、部活動にも十分打ち込める環境であり、文武両道が可能。自分の孫には公立ではなく私立へ行かせたいのが本音。 部活の在り方を一から作り直していきましょう。
5	地域移行に対する意見	部活動の地域移行は働き方改革からスタートしたので教員にとって負担の大きいスポーツ系の部活から対応していくのは良いと考えている。 ただ、国からの補助金ありきの前提で進んでいることに若干の危惧がある。
6	意見交換会に対して	もっとこの様な関係各位の意見交換の場を活発に設けることで、たとえメンバーの交代があっても過去の議論が引き継げるように取り組んでいくべきだ。
7	教員負担と子育ての実情に対する意見	部活動と勉学の両立は非常に厳しい実情があるので、子どもには部活動の負担が少ない部活を勧めるし、やはり保護者間の部活に対する温度差が激しいことに部活動の在り方における課題意識がある。 教員のなり手不足の原因である過大な負担の要因となっている事を1つ1つ分解して精査していかなければならない。
8	子ども視点の重要性の意見	部活動が子どもにとって、経験を得る機会の提供となるように部活の在り方の視点として持っておくべきで、負担軽減という視点に偏ってあまり進めるべきではない。